

令和3年度 大胡公民館事業報告

■生涯学習奨励員活動支援

(1) ねらい

自治会とともに住民の生涯学習を振興するため、地域内において行われている学習活動を組織的に支援する。また、生涯学習奨励員・自治会長合同研修会をとおして、今後の地域づくりに寄与することを目的とする。

(2) 対象等

対象：地域内の生涯学習奨励員11名、自治会長11名

生涯学習について学び各自治会の生涯学習事業を発表及び情報交換を行う。

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者（敬称略） | 人数 |
|---|------------------------|---------------------------------------|------|-----------------------|----|
| 1 | 5/8（土） 10:00～15:00 | のびゆくこどものつどい ふれあいの広場 （リサイクル工作指導） | 実習 | 大胡地区 生涯学習奨励員 | 中止 |
| 2 | 2/26（土） 10:00～12:00 | 講演会 | 講演 | 大胡地区生涯学習 奨励員連絡協議会長 | 中止 |
| | | 各町成果発表 （1年間を振り返って） | 発表 | 各町発表 | |

(4) 評価と反省

本年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、「のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場」、「生涯学習フェスティバル2021」が中止になり、生涯学習奨励員としての活動が制限されてしまった。

2年連続中止の事業が多いので、来年度立ち上げへの備えを万全にしたい。

■人権教育

(1) ねらい

人権意識の向上と啓発

(2) 対象等

対象：大胡地区在住者等

(3) 事業

① 掲載

人権週間に合わせ、地区内の小中学校の児童・生徒に人権に関する標語を募集した。60点(小学校4校43点、中学校1校17点)の作品が集まり、次年度の館報で毎号(毎月)掲載する。

② 展示

昨年の人権週間に募集した標語は、今年度館報で掲載を実施したが、さらに「手をつなぐ作品展」{(9月1日(水)～9月13日(月))}に合わせ、公民館ロビーで、「標語作品展」を行った。

「手をつなぐ作品展」と「標語作品展」の相乗効果で、展示がにぎやかになった。

(4) 課題

今年の標語作品展(展示)については、開催期間が、新型コロナの感染状況の厳しい時期であったため、十分に周知できなかったこともあり、来場者は少なかった。来年は、多くの方に見ていただけるよう検討していく。

さらに、地区内の人権意識の現状把握を行い、意識の向上と啓発を図るにはどんな事業を行うのがよいのかについて検討することが重要だと感じた。



標語作品展の様子

■子育て親子支援講座【ママたちのひろばベビー】

(1) ねらい

- ① 6ヶ月から1歳6ヶ月の子を持つ親子が、講座をとおして子育ての知識や技術を学び、親子の交流を深める。
- ② 親同士の交流を深めるとともに、大胡公民館で開室している「子育て遊び場おおご」の活性化を図る。

(2) 概要

6ヶ月～1才6ヶ月の子を持つ親子5組を対象に実施。

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者 | 人数 |
|---|-------------------------|-------------------------------|------|--------|-----|
| 1 | 7/8 (木) 10:00～12:00 | 親子のふれあいを楽しもう！ ～足形、手形を作ろう！～ | 実習 | 坂本ゆきえ | 10人 |
| 2 | 7/14 (水) 10:00～12:00 | 抱っこでエクササイズ 「親子一緒に楽しめます」 | 実習 | 根岸圭衣 | 4人 |

(4) 評価と反省

今年度の「ママたちのひろばベビー」は、親子のふれあい足型、手形を作ることやベビーダンスを取り入れて親子の交流を深めることに重点を置いた内容を考えた。

母親の年齢も近かったこともあり、各回とも親子の交流に加え、親同士の交流も盛んに行われていた。



足型、手形を作ろう



抱っこでエクササイズ

■子育て親子支援講座【ママたちのひろば】

(1) ねらい

- ① 乳幼児期の子どもを持つ親が、講座をとおして子育てについて学び、交流を深め、教育の出発点である家庭教育力の向上を目指す。
- ② 大胡地区保健推進員に託児を依頼することにより、子どもから離れた時間を講座に集中するとともにリフレッシュする時間を持つ。

(2) 対象等

対象：2歳児から未就学児を持つ保護者と子 5組

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者 | 人数 |
|---|--------------------------|--|------|-----------------|-----|
| 1 | 10/5 (火) 10:00～11:00 | 前橋市出前講座 いきいき健康教室 セルフチェックでがんから身を守ろう | 実技 | 健康増進課 | 中止 |
| 2 | 10/16 (土) 10:00～12:00 | 大胡・宮城・粕川公民館合同 「親子で一緒にリトミック！」 | 実技 | リトミック講師 飯塚一美 | 13人 |

(4) 評価と反省

「ママたちのひろば」は、今年度も3館合同「親子でリトミック」を計画した。親子兄弟がリズムに合わせてリトミックや読み聞かせで楽しんだ。

1回目の出前講座は、参加者が少なかったため、又、コロナウイルス感染防止対策で実施することができなかつたのが残念であった。



3館合同の親子でリトミック

■親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称BP)
大胡・宮城・粕川公民館合同

(1) ねらい

- ①第1子(2～5か月)の子を持つ母親が、専門家のアドバイスを受けることにより今後の子育てに必要な知識を学ぶ。
- ②育児に対する不安や悩みを親同士で共有し、前向きに子育てに取り組む。
- ③3地区合同で事業を行うことにより、広い地域での交流や仲間づくりを促進する。

(2) 対象等

対象：第1子（令和3年5月26日～9月25日生まれ）とその母親
 市子育て支援課 BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師 | 組数 |
|---|-------------------------|---|-------------|--|----|
| 1 | 11/25(木) 10:00～12:00 | 新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ | グループ ワーク | 前橋市子育て 支援課 (BPファシ リテーター) 保健師 池田亜美 保健師 阿久津咲妃 | 3 |
| 2 | 12/2(木) 10:00～12:00 | 赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な生活リズムを整える | | | 4 |
| 3 | 12/9(木) 10:00～12:00 | 赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳児期の心の発達の大切さを知る | | | 4 |
| 4 | 12/16(木) 10:00～12:00 | 親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切に育児から 学ぶ | | | 4 |

(4) 評価と反省

今年度も大胡、宮城、粕川の3公民館が合同で本プログラムを行った。

今回について参加者の募集人数に達することができず実施するかを迷ったが、4回目終了の時に参加者が「来て良かった。」という感想を聞いて、実施できて良かった。

こどもの成長や育児に関することなど、気軽に何でも話合うことができるため、若い親たちが安心して交流できる場所になっている。

次年度も3公民館合同で実施したいと考えている。



①親子のふれあい



②隣同士であいさつ

■夏休み書道教室

(1) ねらい

- ①学校や学年の枠を超えた集団学習を通し、地域・世代間交流を図る。
- ②書道技術の向上を図る。
- ③公民館利用団体に講師を依頼し、学習還元の間とする。

(2) 対象等

対象：大胡地区の小学生（3年～6年生）

周知方法：大胡地区内の3小学校に依頼してチラシを配布

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者(敬称略) | 人数 |
|---|--|---------|------|---------------------|----|
| 1 | 8/7(土) 9:00～11:00 8/8(日) 9:00～11:00 | 書道教室 | 実習 | 大胡シャンテ書道 教室代表・会員 | 16 |

(4) 評価と反省

実施直前に新型コロナウイルスの県警戒度が4に引き上げられ、まん延防止等重点措置区域の適用も見込まれたため、本教室の参加申込者全員の保護者に電話連絡して説明のうえ改めて参加の可否確認を行い、2名不参加での開催となった。

初開催ということもありすぐに成果が出にくいのではと懸念していたが、限られた時間の中で真剣に取り組む姿が見られ、講師が各学年の課題のお手本を事前に用意し、補助者の準備・片付けの補助や指導の下、参加者も上達を実感できたようである。

アンケート結果からも参加して「とても良かった」との回答が大半を占めたが、コロナ禍での開催であるため他校の児童や講師陣と交流が図れなかったのが残念である。



講師の皆さん



実習の様子

■プログラミング教室

(1) ねらい

- ①プログラミング体験を通し、親子の絆を深めるとともに、想像力、思考力の向上を図る。
- ②学校や学年の枠を超えた集団学習を通して、地域や世代間交流を図る。
- ③市内の事業者に講師を依頼することで、地域資源を活用する。

(2) 対象等

対象：大胡地区の小学生と希望する保護者

周知方法：大胡地区内の3小学校に依頼してチラシをタブレット配布

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者(敬称略) | 人数 |
|---|--|-------------------------|------|---------------------------------|-------------------------|
| 1 | 11/27(土) 10:30~ 11:30 13:30~ 14:30 | タブレットを使用した プログラミング体験 | 実習 | (株)ベイシア電器 ドコモショップベイシア前橋モール店スタッフ | 児童 11 保護者 12 計 23 |

(4) 評価と反省

夏休み期間中に一度募集したが、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置区域の適用により中止となり改めての開催となった。希望する保護者の参加を可として募集したところほとんどが保護者参加となり、タブレットもすべての参加者に貸し出しできて、親子で同時に体験する機会を設けられた。講師4名の指導により単にタブレット操作の習得ではなく、自分で考えて画像の選択・作成を行い動かすといったプログラムの基本を自然に習得できていたように思われ、保護者も子どもと競い、時には教えられながら体験して、親子の話題作りにもなったのではないかと感じた。

長期休業期間中でなかったことも影響してか参加者が減ってしまったことは残念であるが、アンケート結果からは満足度が高く、また参加したい、もっと難しいプログラミングに挑戦したい等の声がアンケート以外からもあったため、次回開催の機会があれば検討課題としたい。



実習の様子



やったー、動いたー！

■季節の星空観察(赤城山ろく里山学校)

(1) ねらい

- ①自然豊かな赤城山ろくでの体験活動を通して、地域を知り愛着の心を育む。
- ②学校や学年の枠を超えた野外活動を行うことで、世代・地域間交流を推進する。
- ③地域団体の協力により、地域で子どもを育てる機運を醸成する。

(2) 対象等

対象：大胡地区の小学生とその保護者

周知方法：大胡地区内の3小学校に依頼してチラシをタブレット配布

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者(敬称略) | 人数 |
|---|-------------------------|-------------------|------|---------------------------|----------------------------------|
| 1 | 12/2(木) 18:30~ 19:30 | 天体解説、天体望遠鏡による星空観望 | 体験 | 前橋市児童文化センター職員・子育連、VYS、青少推 | 児童 10 未就学 3 保護者 11 計 24 |

(4) 評価と反省

冬の恒例事業となっている「季節の星空観察」は、例年依頼している県の出前講座に替わり昨年と同様、前橋市児童文化センターの全面的な支援と、おおごっ子育成団体連合会、大胡VYS、大胡地区青少年育成推進委員会の協力により円滑に事故無く進めることができた。

コロナ禍での開催を考慮しての対応により、例年より減じて小学生親子10組の募集とし、穏やかで雲のない絶好のコンディションの中、屋外を主とした静かな活動のなかにも好奇心が旺盛な子どもたちは保護者とともに講師や助言者の話に耳を傾け、天体望遠鏡での星空観望では驚きの声が上がったことや、アンケート結果などからも参加者にとってふるさとの良さの気づきに繋がる貴重な体験となったようである。



屋内での天体解説



天体望遠鏡による星空観望

■冬休み書初め教室

(1) ねらい

- ①学校や学年の枠を超えた集団学習を通し、地域・世代間交流を図る。
- ②書初め技術の向上を図る。
- ③公民館利用団体に講師を依頼し、学習還元の間とする。

(2) 対象等

対象：大胡地区の小学生（3年～6年生）

周知方法：大胡地区内の3小学校に依頼してチラシをタブレット配布

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者(敬称略) | 人数 |
|---|------------------------|---------|------|---------------------|----|
| 1 | 12/25(土) 9:00～11:00 | 書初め教室 | 実習 | 大胡シャンテ書道 教室代表・会員 | 4 |

(4) 評価と反省

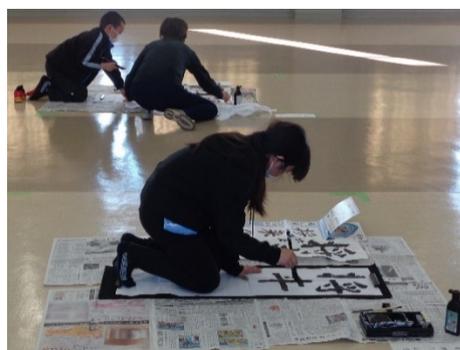
昨年度の冬休みに計画した「書初め教室」は、新型コロナウイルスの感染拡大で県警戒度が4に引き上げられたことから中止したため今回が初開催となったが、限られた時間の中で参加者が真剣に取り組み、講師陣の丁寧な指導により確実に上達を見ることができた。

昨年度は募集後に中止となったが26名の申し込みがあり、今年度の募集結果は極めて少ない人数により中止も視野に入れたが、講師から少人数でも参加者がいるのであれば指導したいとの申し入れもあり、二日間を一日に短縮しての実施とした。

従来は募集方法は、地区内3小学校に依頼して紙ベースのチラシを対象児童に配布するものであったが、昨年9月からのタブレット配信だけではPR不足も一因と考えられるため、来年度からは館報掲載等も含めて周知方法を検討したい。



実習の様子



全集中!

■こぶし学級

(1) ねらい

- ①受講生同士の交流を深め、仲間づくりや生きがいを促進する。
- ②健康維持に役立つ知識を学び、健康寿命の延伸につなげる。
- ③不測の事態に備え、適切な応急手当の知識や技術を身に付ける。
- ④新聞の見方や活用法を学ぶことにより、情報収集力を高める。
- ⑤自分自身を見直し、自分らしい生き方を発見するきっかけとする。

(2) 概要

- ①名称を「こぶし学級」とし、地区在住在勤の方を対象に20人を募集。
- ②6回の連続講座。
- ③第5回の「生きてきた証をこれからの活かそう！」は前年度オンライン(Zoom)で開催した講座を対面で計画。

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者(敬称略) | 人数 |
|---|---|--|----------|--------------------------|----|
| 1 | 7/27 (火) 10:00～11:10 | ステキにごみダイエット ～第二次G活チャレンジ～ 資源とごみ分別のポイント や家庭で取り組めるごみ減 量方法について学ぶ | 講義 | ごみ減量課 (出前講座No.77) | 11 |
| 2 | 8/3 (火) 10:00～11:20 | ヤクルト健康教室 ～腸内から健康づくり～ 腸の働きや重要性、腸を健 康にする方法等を学ぶ | 講義 | 群馬ヤクルト販売 株 | 12 |
| 3 | 8/24 (火) 10:00～11:30 | 救急車が来るまでの対応に ついて学ぶ 応急手当や心肺蘇生法等、 いざという時のための知識 や技術を学ぶ | 講義 実習 | 市消防局東消防署 | 中止 |
| 4 | 11/9 (火) 10:00～11:30 (9/3から11/9 ～延期) | 「古くて新しい」楽しい新 聞の活用方法 新聞の歴史や情報活用を学 び、震災や洪水等取材し た災害現場を写真等で紹介 | 講義 | 株上毛新聞社 | 12 |
| 5 | 9/14 (火) 10:00～12:00 | 生きてきた証をこれからの 活かそう！ 自分史活用アドバイザーか ら、張り合いをもって生き るためのきっかけを学ぶ | 講義 | 自分史活用アドバイ ザー 小倉 圭子 | 中止 |
| 6 | 10/12 (火) 10:00～11:30 | はじめてますか？介護予防 介護予防やフレイル予防に 必要な知識、実践方法を体 操等を交えて学ぶ | 講義 実習 | 長寿包括ケア課 (出前講座No.41) | 16 |

(4) 評価と反省

コロナの影響も含め、必要課題等を踏まえながら検討を行い全6回の計画とした。定員は、仲間づくりや受講生同士の交流を深めるねらいから検討したが、安全面を考慮し20名とした。第5回の「生きてきた証をこれからは活かそう！」は前年度オンライン（Zoom）で学習したものを、さらに対面（ハイブリッド）で企画したがコロナで中止となってしまったため、来年度以降、再度検討したい。第4回の「古くて新しい、楽しい新聞の活用方法」では、延期に次ぐ延期で講師との事前打ち合わせから実施までに4カ月以上経過してしまったこともあり、講師の進め方とこちらの考えとで多少相違する部分もあり、内容について再確認（調整）する必要があった。

全体を通して、コロナで2回中止となり講座の間隔が長い間あいてしまったことから、短期間で計画したものを実施した方が受講者にとって受講しやすいと感じた。また、短期間での計画・実施とすることで、その時の状況に応じて定員を設定できることも利点と感じた。



ステキにごみダイエット
～第二次G活チャレンジ～



ヤクルト健康教室
～腸内から健康づくり～



「古くて新しい」、
楽しい新聞の活用方法



はじめてますか？
介護予防

■Zoom体験講座

(1) ねらい

- ①オンラインツールZoomを体験しコロナ禍でも人とつながれる手法を学ぶ。
- ②新しい学びを通して、仲間づくりや生きがいを促進する。
- ③地域交流や地域活動への活用の一助とする。

(2) 概要

- ①大胡地区在住で、Zoomに関心のある方及び初心者の方を対象にする。
- ②定員は各回10名（先着順）とし、同じ学習内容とする。
- ③講師は(株)ジージーシースタッフに依頼する。
- ④タブレット端末（10台）は講師（業者）からの貸出しとする。

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者(敬称略) | 人数 |
|---|--------------------------|---|----------|-------------------------------|----|
| 1 | 10/27 (水) 10:00~11:30 | Zoom 体験講座 ・紹介アプリ ・Zoom アプリを入れる方法 | 講義 実習 | (株)ジーシーシー スタッフ 小平悠介 他1名 | 9 |
| 2 | 10/27 (水) 13:30~15:00 | ・Zoom アプリ利用方法 ・Zoom 画面説明 ・用語解説 ・Zoom アプリ体験 | | | 8 |

(4) 評価と反省

講師が用意したタブレットを使用しての講座であったため、初心者でも誤操作を気にせず、安心してZoomのいろいろな機能を体験（操作）することができた。

また、離れた場所（別の部屋）に一人一人移動してもらい、実際の使用環境に近い状況の中でZoomを体験することにより、オンラインの利便性を実感できる機会を提供することができた。



Zoom 体験講座
講座の様子（午前）



Zoom 体験講座
講座の様子（午後）

■はじめてのスマホ教室

(1) ねらい

- ①スマホに触れ実際に操作することで、利用方法を習得する機会を提供する。
- ②デジタル化が進む中で、スマホの活用力を高め生活の利便性向上につなげる。
- ③スマホの利活用を学ぶことで、情報格差の解消につなげる。

(2) 概要

- ①大胡地区在住で、スマートフォン未経験者及び初心者の方を対象にする。
- ②定員は各回20名（先着順）とし、同じ学習内容とする。
- ③講師はドコモショップ前橋東店に依頼する。
- ④端末（20台）は講師（業者）からの貸出しとする。同一機種を使用する。

(3) 内容

| 回 | 月日・時間 | 学習主題・内容 | 学習方法 | 講師・協力者(敬称略) | 人数 |
|---|--------------------------|--|----------|------------------------------|----|
| 1 | 11/29 (月) 10:00~12:00 | はじめてのスマホ教室 ・電源の入れ方、切り方 ・マナーモード ・スリープモード ・カメラ機能 ・QRコードの読み取り方 | 講義 実習 | ドコモショップ 前橋東店 佐藤 智一 他1名 | 20 |
| 2 | 11/29 (月) 13:30~15:30 | | | | 19 |

(4) 評価と反省

募集定員については、午前・午後の各20名としたが、定員に達した後も問い合わせがあり、ニーズの高さがうかがえ講座の必要性を強く感じた。講座では、実際にらくらくスマートフォンを操作しながら学ぶことで、わからない点を講師に聞きながら進めることができ、全員が同じ操作をできた段階で次へ進むという講師の学習方法も非常に効果的であった。

ただ今回は、らくらくスマートフォンを使用しての学習であったため、違う機種を所有している参加者には、今回の学習が活かしきれない部分もあり、今後企画する上で機種等も考慮していきたい。



はじめてのスマホ教室
講座の様子（午前）



はじめてのスマホ教室
講座の様子（午後）

■大胡地区文化祭

1) ねらい

- ①関係団体・グループが一堂に会し、日頃の活動の成果を発表することで、お互いの交流を図る。
- ②大胡地区の芸術・文化の向上に寄与する。

(2) 概 要

公民館利用団体・前橋市文化協会大胡支部加入団体・地区内保育園・こども園・幼稚園・小中学校等で実行委員会を組織する。

作品展示・芸能祭・音楽祭・茶道会・囲碁大会・将棋大会等を開催し、幅広く地域市民の参加を促す。

(3) 内容

| 部門別 | 期日 | 開催内容 |
|-------|--|--|
| 作品展示 | 10月22日(金) ～ 24日(日) | 絵画、水墨画、きり絵、書道、写真、籐工芸、陶芸、編み物、手芸、地区内幼稚園・保育園児の絵画・造形作品、地区内小・中学校児童生徒の書道・絵画作品等の展示 23日(土)リサイクル本の配布 |
| 芸能祭 | 10月31日(日) | 民謡合唱、独唱、歌謡吟詠、民舞、レクダンス、舞踊、合唱・合奏、詩舞、フラダンス、和太鼓、太極拳、詩の朗読、八木節など |
| 茶道会 | 10月23日(日) 10月31日(日) | 体育館にて呈茶 大胡シャンテ和室にて呈茶 |
| 将棋大会 | 10月24日(日) | A B Cの3クラスに分かれて行う。 1位から3位までに賞状を授与する。 |
| 史跡めぐり | 11月 日(月) | 大胡地区内の史跡めぐりを行う。大胡神社、養林寺、大胡城址など。 |
| 囲碁大会 | 11月14日(月) | A B Cの3クラスに分かれて行う。 1位から3位までに賞状を授与する。 |
| 音楽祭 | 11月6日(土) | 合唱(混声・女声・児童)、合同合唱、オカリナ演奏、吹奏楽、地区内小・中学校合唱、大胡中学校吹奏楽等 |

(4) 評価と反省

第1回文化祭実行委員会において開催を決定したが、新型コロナウイルス感染拡大により「緊急事態措置」となったことから中止となった。

■ 情報提供事業

(1) 大胡公民館「館報」の発行

- ①内 容 公民館主催事業や地域の問題などを掲載
- ②発行部数 約 78,000 部 (約 6,500 部×12 回) A 4 判両面印刷
- ③発行日 毎月 1 日発行
- ④その他 ア 市ホームページに掲載
イ 本館正面玄関ロビーにカラー版を掲示
ウ ちょいネタ「大胡歴史学」を毎回掲載し、地域の歴史に親しみを感じていただくための取り組みを実施

(2) 大胡公民館のホームページ

公民館施設の概要や公民館施設を利用し活動する学習グループの紹介、公民館主催事業の案内等を掲載し、広く情報を提供。

■ 自主学習グループ支援講座

(1) ねらい

- ①自主学習グループのリーダー及び会員が、他のグループと交流を深める。
- ②グループ活動の充実と資質の向上を図る。
- ③いざという時のための「AEDの使い方と心肺蘇生法」や普段の生活で気をつけることが大事な「予防救急」について学ぶ

(2) 概要

大胡公民館利用自主学習グループ会員を対象とし、まえばし出前講座で「AEDの使い方と心肺蘇生法」や「予防救急」について学ぶ。

(3) 内容

| 回 | 月 日 | 学習主題・内容等 | 方法 | 講師 | 人数 |
|---|------------------------|---|----|------------------|----|
| 1 | 2/1 (火) 14:00~15:00 | それいけ！まえばし出前講座 「救急車が来るまでの対応について学ぶ講習会」 | 講義 | 前橋市消防局 東消防署職員 | 中止 |

(4) 評価と反省

公民館利用申請説明会後に、まえばし出前講座『救急車が来るまでの対応について学ぶ講習会』の予定であったが、コロナウイルス感染防止のため中止となった。

■ 団体育成援助事業、各種事業援助活動

1 のびゆくこどものつどい・ふれあいひろば

(1) ねらい

健康で明るく育つ子どもたちを祝福するとともに、家庭・学校・地域の連携により、子どもたちを地域で育てるという気運を醸成し、子どもたち

の「生きる力」をはぐくみ、もって子どもたちの健全育成を図る。また、障害者やお年寄り、子どもたちと世代を超えて、自由に参加・交流し、お互いに理解し、信頼を深め、住みよい、安心して暮らせる地域福祉社会づくりを推進する。

(2) 内容

| 月日・時間 | 会 場 | 主 な 内 容 | 参加者数 |
|---------------------------|----------------|---|------|
| 5/8 (土) 9:00 ~12:00 | 大胡公民館 大胡体育館 | ○模擬店 ○体験コーナー ○軽スポーツコーナー ○消防コーナー ○アトラクション ○社会福祉協議会コーナー など | 中止 |

2 青少年健全育成事業への協力・援助・指導

(1) 青少年健全育成推進大会事業

| 開催日 | 行 事 名 | 主な活動内容等 |
|------------------|--|--|
| 12/4 (土) (中止) | 大胡地区青少年健全育成推進大会(前橋の子どもを明るく育てる活動・地区別会議) | 少年の主張表彰及び発表、おおごっ子単位子ども会の書道絵画展の表彰、団体活動発表(子どもわくわく活動実行委員会、おおごっ子単位子供会、大胡VYS) |
| 通年 | 青少年育成推進員活動 | 各季の青少年健全育成運動、定例会、青少年体験事業協力参加等 |

(2) 子どもわくわく活動実行委員会事業への協力・援助・指導

①わくわくあそび場

| 実施場所 | 主 な 活 動 内 容 等 |
|--------|--|
| 大胡小学校 | ① 昔あそび1回 1年生 (コロナウイルスの感染防止のため中止) ② 大胡かるた1回 2年生 (// 中止) |
| 大胡東小学校 | ① 昔あそび1回 1年生 (// 中止) ② 絵画指導1回 1~6年生 7/26日実施 |
| 滝窪小学校 | ① 昔あそび1回 1年生 (コロナウイルスの感染防止のため中止) ② 野外調理指導1回 5年生 (// 中止) |
| おおご幼稚園 | ① 紙芝居1回 年少 (// 中止) ③ 親子工作指導1回 年長親子 (// 中止) ④ 昔あそび2回 年中、年長 (// 中止) |

②自主事業(指導員研修会)

| 開催日 | 行 事 名 | 内 容 |
|-----------|--------|-------------------------|
| 11/12 (金) | 伝統文化教室 | 大胡カルタめぐり(大胡城跡、大胡神社、養林寺) |

3 前橋市文化協会大胡支部への支援(事務局として会議開催等に協力)

4 社会体育事業への協力・支援（地区体育協会事業）

| 開催日 | 行事名 | 対象者及び参加人数 | 会場 |
|------------------------------|---------------------|-------------------------|-----------------------|
| 4/25（日） | 第17回 地区ソフトボール大会 | 各支部一般男子（中止） | 大胡総合運動公園野球場 |
| 5/9（日） 5/16（日） 5/30（日） | 令和3年度 地区野球大会 | 各支部代表（中止） | 大胡総合運動公園野球場 |
| 6/20（日） | 令和3年度 地区バレーボール大会 | 各支部男子・女子（中止） | 大胡体育館 |
| 10/3（日） | 第17回 地区市民体育祭 | 地区住民（中止） | 大胡総合運動公園陸上競技場 |
| 10/17（日） | 第27回 地区ゴルフ大会 | 各支部代表（中止） | 桐生カントリークラブ |
| 11/28（日） | 第34回 地区駅伝競走大会 | 各支部一般の部・小学生 の部代表（中止） | 大胡総合運動公園陸上競技場発着の特設コース |

5 地域づくり推進事業

| 開催日 | 行事名 | 参加人数 | 会場または活動内容 |
|--|-----------------------------|------|--|
| 毎月 第2・4月曜日 | おおご元気塾（地域福祉部会） | 中止 | 大胡公民館 |
| 毎月 第2月曜日 | 健康ひろば（健康推進部会） | 中止 | 大胡公民館 |
| 7月 | 地域再発見「おおごさんぽ」 | 中止 | 大胡地区内 |
| 8月 | 健康ハイキング | 中止 | 未定 |
| 9月 | 世代間交流グランドゴルフ | 中止 | 足軽茂木公園グランド |
| 11月 | 第14回健康ウォークフェスティバル | 中止 | 大胡地区内 |
| 3/6（日） | 地域再発見「おおごさんぽ」 大胡城跡の環境美化編 | 中止 | 大胡公民館～大胡城跡 |
| 10/20（水） 1/13（木） | 役員会議 | 延26名 | 大胡公民館 |
| 4/15（木） 7/8（木） 8/5（木） 8/7（土） 10/8（金） 11/4（木） 12/9（木） 1/13（木） 1/16（日） 2/3（木） 3/3（木） 3/6（日） | ワーキングチーム会議 | 延72人 | イメージキャラクターの周知 動画の撮影、編集 PR物品等の作成 新規事業の検討 |
| 6/1（火） 12/1（水） | 広報紙発行（旬通信） | 2回 | |

■その他の事業

1 子育て遊び場事業

(1) 概要

平成21年度～23年度まで緊急雇用事業として生涯学習課を窓口にご子どもと親の居場所活動事業(家庭教育支援チーム)が3年間実施され終了。

平成24年度から大胡地区家庭教育支援活動員会とボランティアの方が協力して、子育て遊び場「一休さん」を毎週水曜日午前10時～午後4時まで開室。

平成25年度～29年度は、毎週水曜日午前10時～正午まで開室。

平成31年度に家庭教育支援活動員会が解散したことで「一休さん」継続については、公民館が引き継ぐ形となり、名称を「一休さん」から「子育て遊び場おおご」に変更して毎週水曜日の午前10時から正午まで開室し現在に至っている。

(2) 事業

親子の居場所づくり・見守りを行い、親子が自由に遊べる場を提供する。

(3) 評価と反省

大胡地区には児童館がないため、子育て支援の場、交流の場とすることを目的とした「子育て遊び場おおご」の継続が必要である。しかしながら、令和元年度には数名いた来場者が令和2年度及び令和3年度にあっては、コロナ禍という状況もありまったくいない状態となってしまった。今後、継続していくにあたっては、コロナウイルス感染収束後の再生に向けて、運営面の改善をはじめ、利用促進に向けた周知方法の検討など様々な課題解消に取り組む必要がある。